

## 受審者各位

公益財団法人 全日本剣道連盟

### 審査における新型コロナウイルス感染症対策

審査当日は、下記事項に十分注意願います。

- ① 審査当日、発熱や風邪のような症状がある場合は受審できません。
- ② 見学者、付き添いは入場をお断りします。
- ③ 施設入口では、各々2メートル以上間隔をとって並んでください。
- ④ 施設入口で、体温測定を行い、あらかじめ配布した「確認票」を提出願います。
- ⑤ 施設内は、必ずマスクをしてください。
- ⑥ 施設入場後、受付をして受審カードをもらい、観覧席で着替えて待機願います。
- ⑦ 観覧席では、隣同士間隔をあけ（1席以上空ける）着席願います。
- ⑧ 女子の方は、更衣室で密接状態にならないよう交代で使用する等注意してください。
- ⑨ 実技審査は、面マスクおよびシールドを着用してください。
- ⑩ 実技受審番号は、各会場ごとに呼び出された方のみ、審査会場に集合してください。
- ⑪ 実技合格者は、係員の指示で形審査会場に移動します。
- ⑫ 実技不合格者は、速やかに更衣を行い退館願います。
- ⑬ 受付、トイレ等にアルコール消毒液が準備されているので、各自消毒してください。
- ⑭ 施設内では、フィジカル・ディスタンス（人と人の距離を最低でも1メートル、できれば2メートル）を保つようにしてください。

## 審査会実施要領 (新型コロナウイルス感染症対策)

### 審査会要項 (受審者募集) における確認事項

次のことが当てはまる人は  
審査会に参加できない。



- ①体温が **37.5 度以上**ある人や **37 度以上あり且つ風邪症状**がある人。
- ②同居家族や身近な知人に感染者、または感染の疑いのある方がいる人。
- ③過去 14 日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人。
- ④**基礎疾患のある人は、あらかじめ主治医に相談のうえ、審査会参加の了解を得てください。**

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人。

- 審査会に申し込む人は、**自己の責任**において当日の審査会に参加するものとする。
- 過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、受審について医師と相談して決める。
- 保護者 (家族) 同伴で来場した場合、**受審者以外の方は審査会場のある施設内には入場できない**。基本的に**送迎のみ**とする。特別な理由で入場を認める場合でも、発熱や風邪症状がある方の入場は厳禁とする。  
(入場者は必ずマスク着用)
- 審査会当日の集合時刻について、要項を熟読して間違いのないように努める。

## 審査会当日の注意事項

- 着替えは原則自宅<sup>①</sup>で済ませておく。やむなく審査会場の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
- 審査会に参加する時はマスクを必ず着用すること。(外出時から使用)
- 受審者確認票を必ず持参すること。忘れると会場に入れない。

受審者確認票	
登録都道府県名	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>
年齢	<input type="text"/> ページ
審査当日の体温	<input type="text"/>
緊急時連絡先電話番号(本人以外の定数等)	<input type="text"/>
※受審当日に必ず会場にご持参ください	

- 日本剣道形審査において使用する木刀は全剣連で準備します。
- 施設内に入場する者は全員必ずマスクを着用し、私語を慎むように心がける。
- 入場する時も含めて、常にフィジカルディスタンス(他の人との距離)を約2m(最低でも1m)確保する。
- 審査前および審査後に手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を行う。できれば足の裏も除菌用ウェットティッシュで拭く。  
ごみはビニール袋に入れ密封する。



## 審査について

※道具の貸し借りは**禁止**

### 【実技審査】

- 飛沫防止対策用の面を必ず使用する。**面マスク及びシールドを必ず着用**する。
- 面マスク及びシールド**の着用については、**鼻と口を覆い**酸欠にならないように立体的に覆うなど、工夫することが大切である。  
(マスクと鼻・口の間少し空間を設けるなど)
- 鏝ぜり合いにならない**ように心がける。  
もし、鏝ぜり合いになったら、お互いにすぐに解消する。

### 【形審査】

- 形審査においては、受審者は**必ずマスクを着用**する。
- 日本剣道形審査において使用する**木刀は全剣連で準備**します。



## 運営上の留意事項

- 審査会当日、係員は必ずフェイスガード、マスクを着用する。
- 施設に入場する時に、申込者名簿により**入場者の検温**を実施する。
- 受付**で受審者が密集して並ばないように、**約 2m 間隔**で床にテープを貼って距離を保つようにする。
- 会場内の**入口と出口**を明確に**分ける**。出入口の数をある程度限定する。
- 施設内の数か所に**アルコール消毒液**を設置する。
- 人が触れる所（ドアノブなど）は**定期的**に**アルコール消毒**する。



- 受審者は**観覧席を控え場所**として使用する。観覧席が密にならないように、**一つ置き**に使用する。
- 熱中症にも気を付ける。
- 会場内の**室温、換気には充分注意**する。



- 審査会には必ず救護係（医療関係者）を配置する。
- 形審査は、組数を増やして全体を短時間で終わるようにする。
- 実技審査において、会場数を増やして受審者の密集する待ち時間を短くする。
- 合格発表はまとめて実施するのではなく、人数を区切って何度も行う。



**※審査会実施要項に準じて開催する。**

